

浜嶋です。

おはようございます。

団委員長としての報告です。

ビーバー隊は、炎天下の8月6日～7日、初谷川は、とても涼しくて、川の水で冷たく、帰りたくないなるほどで全員大満足。夜は、ビッグビーバー家族で食事、スカウトはホームステイで長く暑い夜を楽しみました。

7日は栗ヶ丘会館に全員が集合し、舎營をテーマにしたうちわづくりとゲーム、魚釣りゲーム、アイスクリーム作りで涼しく過ごしました。

さて、3人のビッグビーバーは、3月にカブ隊に上進します。

食事の後に、カブスカウトへの準備について考えてもらいました。保護者や指導者を前にして、私が3人に話しかけ、考えてもらいました。

実は、食事前に時間があったので、この話をし始めましたが、中止しました。

昼間の興奮が冷めていない、ホームステイの環境、お風呂上がり、食事前、まったく落ち着いて話が聞けない状態でした。

保護者や指導者にも聞いてほしかったですから、途中でやめてよかったです。しかも、本番の前の心の準備によかったです。

本番は、保護者と指導者の前で緊張ぎみでしたが、しっかり話を聞いてくれました。

カブスカウトになるためには、ビーバー隊で準備することは2つあること。

1つ目は、体を強くするためにどうしたらいいかを考えてもらいました。

たくさん食べて、運動することです。

2つ目は、こころを強くすることについて考えてもらいました。

自分のための気持ちとして、

- ・元気な気持

- ・頑張る気持

- ・辛抱する気持ち

があります。

人のための気持ちとして

- ・人にやさしくする気持ち

- ・人に親切にする気持ち

があります。

これを実行するには、勇気が必要だということを説明しました。

考えているだけでは、本当の気持ちも幻の気持ちになってしまいます。

もう我慢の限界かなと思い、カブスカウトになるための準備は、残りの期間でビーバー隊のきまりを完成させることとしました。

具体的にしてほしいことは、「はい」という返事をしっかりできるようにしようとお願いしました。

「はい」が言えれば、他のこともできるようになります。

これで、「全員カブスカウトになってもいいよー」と言える日が近づいてくると思います。この後は、かき氷を食べて涼しくなりました。

翌日の朝になりました。

私の日々の目標の一つとして、スカウトの育成があります。

ビッグビーバー3人には、特別な目標を壁に掲示しています。

食後に、掲示している紙をはがして、3人に一人ずつの目標を説明しました。だいたい間違いないとのことでした。

これを各自で紙に書いてもらいました。すこし意識してもらえたならなあと思います。

成果がすぐでるわけではありませんが、7ヶ月をかけて支援していきます。

栗ヶ丘会館の朝礼では、大輪になったときに、「ん、少し変わったかな」という感じがしました。

保護者にも確認しました。これから変わることへの大きな期待を持てました。

今後は、指導者一同、元気なビッグビーバーは、わんぱくであり、規律もわきまえる心を持って、カブ隊に上進するように指導を続けていきます。